

## 平成25年度 大阪府立桜塚高等学校 定時制の課程 第1回学校協議会

日時：平成25年7月9日（火）15時から16時半

場所：大阪府立桜塚高等学校 1階 応接室

出席者：外部委員4名 准校長 事務局8名 計13名

### 1. 准校長挨拶

- 1) 勤労少年、不登校、中退者などへの学習の保障、家庭環境悪化している子供たちへの支援
- 2) 昨年度入試 後期募集 44名 補欠募集 5名 計49名入学
- 3) 山澤さんへ委嘱状

### 2. 委員紹介

### 3. 事務局員紹介

### 4. 会長の選出

中島会長のあいさつ

みんなで一緒に学校のこと、生徒のことを考え、より素晴らしい学校にしていきたい。

### 5. 協議

#### 1) 平成25年度学校経営計画について（准校長より）

中期的目標

1. 確かな学力の育成
2. 生徒の達成感や自尊感情を高め、目標設定支援と規範意識の醸成
3. 学校の組織力の向上と開かれた学校運営

#### 2) 平成25年度定時制の課程 教育活動について

○教務部より（内田）

- ・平成26年度教科用図書選定について

○進路指導部より（藤下）

- ・課題として、進路未定やフリーターが多い。その原因として家庭環境が悪い。

○生徒指導部より（土井）

- ・子供が安全に、安心して学校生活を過ごし勉強していけるように部外者侵入や授業中の教室前での妨害行為をやめさせるなどの取り組みを教員が行っており、減少傾向にある。

○1年学年主任より（天満）

- ・学校生活に早く慣れさせ、登校できるように、授業を受けられるように指導をしている。

○教頭より

- ・夜桜通信を年2回発行し、家庭に郵送している。内容は遠足、球技大会、クラブ活動の近況報告等。

#### 3) その他（質疑、協議、提言内容など）

- ・昔、定時制には不良の生徒が多くいたが、現在では心の弱い生徒が多い。
- ・中高連携が必要。中学に話を聞きにいき、生徒の状況を理解、把握する必要がある。
- ・基礎学力をつけさせる取り組みを具体的に始め、進めているのは良い。（100マス計算など）
- ・意欲をもって夜遅くまで働いている教員が多い。
- ・教員の年齢構成は？ 「教員の平均年齢40歳前後である。年齢層での二極化がある。」
- ・教員と生徒との接し方が上手い。生徒がホッとする気持ちになる。
- ・中学ではじかれてきた生徒が多い。自己肯定感をつけさせる必要がある。
- ・学校に足を運び、学校の事を、生徒の事をもっと知りたい。そして次回の学校協議会をより良いものとしたい。
- ・学校の雰囲気はどうか？ 「全体的に非常に落ち着いている学校である。」

#### 6. 閉会の言葉（中島会長より）

- ・学校の実態を少し把握できた第一回目の学校協議会であった。今後、桜塚高校がより良い学校となっていけるように協力していきたい。